

「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」
5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

休泊地区 地域のお宝～ささえあい発表会～

会場の様子



協議体議長挨拶



インタビューの様子



お宝認定証授与



令和7年6月27日(金)、休泊行政センター多目的ホールにて
～ささえあい発表会～を開催しました。当日は約90名の方にご来場
いただき、大盛況のうちに終了することができました。

地域のお宝～ささえあい発表会～とは…

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、**人と人とのつながり**や日常生活の中で何気なく行われているちょっとした**支え合い**が重要です。日頃から地域住民同士でおこなわれている当たり前で身近な支え合い活動を“**地域のお宝**”と題し、そのようなつながりや活動を住民の皆さんに広め、支え合いや助け合いにあふれる地域づくりを進めるために各地区で“**ささえあい発表会**”を開催しています。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

～発表会では3つの事例をご紹介します～

① 休泊八木節愛好会 休泊チンドンクラブ



休泊地区の伝統芸能である「休泊八木節愛好会」と、そこから派生した「休泊チンドンクラブ」は、活動を通じて、地域住民にその魅力が伝えられ、地元に対する誇りや愛着を育む貴重な場となっています。

② お茶の間カフェ竜内もくの会

竜内地区では「もくの会」ができたことで、住民同士が顔を合わせておしゃべり（情報交換）する機会が増えました。毎週行政センターで開催されている「お茶の間カフェ」に加えて「もくの会」のような住民主体のお茶のみ場が近場でいくつもあると（できると）いいと思います。



③ 龍舞町3区平成クラブ

近年、シニアクラブの会員数が減少し、活動の継続が難しくなっている地区も多く見られます。平成クラブでは、4つの部会に役割を分担したり、会員同士のつながりを意識した行事を多く実施しています。こうした工夫が、会の活性化に繋がり、継続の秘訣となっています。



休泊地区担当
コーディネーター

今回の発表会では①伝統芸能の継承②住民主体の居場所づくり③シニアクラブの活性化の3つのテーマで事例発表を行いました。今後も、仕組みやサービスだけではなく、地域のつながりや支えあいでの住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域のお宝の発掘と啓発を行っていききたいと思います♪



←公式Instagram

Follow

つながる通信の
バックナンバー⇒



○お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208